

かめやま お茶の間10選(実践)のススメ

市では、「豊かな子育てができるまち」を目指して、子育て家庭の支援に取り組んでいます。このような中、平成30年度に市内保護者を対象に実施した『子どもの生活実態に関するアンケート』では、「子育てに悩みや不安がある」と回答した保護者が80%以上に上りました。

また、「子どもをしかりすぎているような気がする」、「子どもとの時間を十分に取れない」など、子どもとの接し方に関して悩んだり不安を抱いたりする意見が多いこともわかりました。

そこで、このたび『かめやま お茶の間10選(実践)』を、子育て家庭に向けた応援メッセージとして作成しました。



家庭での居場所の核『お茶の間』

子育てにこれが正解というものはありませんが、子どもたちが「幸せに!」、「健やかに!」、「のびのびと!」育つことは誰の願いです。子どもたちが健全に育つ要素のひとつとして、家族で食事や会話をする『お茶の間』(リビング)という場所はとても大切で、ここで生活リズムや社会のルールなど、人としてのあり方を学んでいきます。

また、家族の集まる場所で、みんなが笑顔で子どもと接することで、子どもは安らぎを感じます。

『お茶の間』は、子どもにとって人生のスタートの場であると同時に迷ったときに戻れる場であり、心のよりどころとなる場所です。



皆様のご家庭で大切にしたいと思っていることは何ですか?

この応援メッセージを作るに当たって、市内の子育て中の人や子どもたちに家庭で大切にしたいことや、こんな家族であってほしいという想いを募集したところ、約800点の応募がありました。それらを、「あいさつ」、「生活習慣」など、10のテーマにまとめたものが、この『かめやま お茶の間10選(実践)』です。

この10選を、**家族で一緒に! 子どもたちと楽しく!** 日頃から実践してください。



『かめやま お茶の間10選(実践)』については、市内の子育て中の家庭へ配布し、今後より実効的な取り組みとなるよう、教育委員会でプランを検討していきます。

詳しくは、亀山市教育委員会事務局生涯学習課社会教育グループのホームページをご覧ください。

URL

<https://www.city.kameyama.mie.jp/kyouiku/article/2014112307436/kateikyouiku.html>



かめやまお茶の間10選(実践)

10の実践テーマ紹介



その1 『あいさつは家族をつなぐ愛言葉』

あいさつは、コミュニケーションのすばらしいきっかけになります。
押し付けではなく、自然に出てくるあいさつがいいですね。

その2 『豊かな体験 豊かな心 家族で経験』

体験は、子どもの自然への関心や、積極性、意欲・関心の向上につながります。
大人と一緒に感動したり、共感したり楽しんでみましょう！

その3 『夢への一歩 家族の力』

夢を持つことは、自分が進む方向への道しるべとなり、生き方の方向性を示してくれます。

その4 『テレビオフ 会話はオンで 一家だんらん』

家族で一緒に何かをすることがとても大切です。
家族の絆を深めることで、子どもの心身の変化などにも気付くことができるようになります。

その5 『つくって守ろう 家族のきまり』

約束を守ることは、社会の一員としての倫理観や規範意識を育みます。
まずは、これだけは身に付けさせたいと思うことから始めてみましょう。

その6 『本開く ところを紡ぐ この出会い』

読書は子どもの感性や豊かな心、想像力、知的好奇心を育みます。
子どもへの読み聞かせ、あるいは感想を言い合ったりすることが大切です。

その7 『しっかり食べて つくろうカラダ』

あか(主菜)・き(主食)・みどり(副菜)と3つの仲間の食べ物を一緒に食べることにより、
身体と心が元気に成長できます。

その8 『家族でつくろう ハッピーリズム』

基本的な生活習慣を整えることは、将来の体の健康にもつながっていきます。
規則正しい生活リズムを心掛けることが大切です。

その9 『支えあう家族 尊い家族』

子どものありのままを受け入れてあげることは、子どもの自己肯定感アップにもつながります。

その10 『お茶の間で伝えよう 感謝の気持ち』

ありがとうの一言だけで、心が和み、幸せな気持ちになります。
相手とのコミュニケーションも一層深まります。とても大切なことですね。